



町民と直に話して上がった声は

村形 昌一 議員

立候補を考えてくれて良かったとの声は多かった

町 長

町の考えを問う

4 議員が一般質問

村形 昌一 議員

- ◆村岡町長の選挙公約を問う
- ◆台風19号への対策・対応をどう総括するか
- ◆特殊提は大丈夫か

7 ページ

遠藤 宏司 議員

- ◆他の市町村よりすぐれた人口減少対策を
- ◆プレミアム商品券の申請状況は
- ◆豪雪地帯でも暮らしやすい町づくりを
- ◆合併しなかった町の今後は

8 ページ

二藤部 冬馬 議員

- ◆教育現場の組織風土
- ◆中学校における部活動のあり方
- ◆公立学校への一年単位の変形労働時間制度導入は

9 ページ

岡崎 英和 議員

- ◆続く無投票、課題は
- ◆教育環境、どう考える
- ◆地域振興公社の今後は

10 ページ



一般質問とは…

大石田町の様々な課題等について、議員が町に考えを聞くことを言います。
質問内容は議案とは関係なく議員が自由に決めます。議員1人当たりの持ち時間は1時間。

村岡町長の公約を問う

町民に何を訴えたか。
町長 子育て世帯に支援を行い、大石田町に住んで良かったと言われる施策を実施したい。
何をやっていきたいか。
町長 気軽に図書館に通いたくなるような仕組みを作り、読書好きな町民があふれる町にしたい。雪対策では近所の方が共助の精神で処理する形を作っていく。



集中できる居心地のいい場所（虹のプラザ）

流雪溝未整備地区の解消を盛り込んだら

町長 最上川からの取水以外の形で、豪雪を雪害とする制度を確立したい。
中・高校生のテスト時期は、図書館の開館時間を延長するなど広く子ども達に開放してほしい。
町長 要望があれば考えていきたい。
小学校統合はどう考えるか。
町長 先を決めないと進んでいかない。総合教育会議などで丁寧に話をしていく。

超大型台風への対応

町としてどう総括するか。
町長 対策に十分ということはないと思うが、結果的に人命にかかわる案件やケガがなかったことが幸いであった。
警戒レベルが4から3へ下がってからの避難所設置等、ちぐはぐな面があったのではないか。
町長 関係機関・団体と検討して、どのようにしていくのかがいいか探っていく。

特殊提は大丈夫か

昭和40年代に整備された堤防の耐用年数等は大丈夫か。
町長 現在、国において土木建造物については耐用年数による経年劣化という考えではなく、長寿命化や機能維持という考えに変化している。
どう長寿命化しているか。
町長 巡視や点検で堤防の変化を適切に把握しており、機動的に補修を行うことで機能維持に努めている。



大丈夫?! (10/13 今宿地内)